

国連 生物多様性の 10 年日本委員会

生物多様性アクション大賞 2018 審査委員賞授賞式ご報告

『動物画家がつなぐ野生動物・生息地環境保全活動』



評価のポイント

動物画家として、日本の絶滅危惧種と生息地を取材して絵を描き、講演会などを開催されています。生態系を守ることが、人にとっても生きやすい環境になることを、個展開催、絵画教室、講演会を通じて立体的に伝える活動です。写実的な絵画とともに、フィールドワークで得た経験などを伝えることで、アーティストとしての表現活動を超えて、絵を通じて生態系の大切さを広く伝えるという活動が10年以上の実績につながっている点を評価したいと思います。

(主催者コメント)

私の絵を通した社会貢献活動＝『動物画家がつなぐ野生動物・生息地環境保全活動』が生物多様性アクション大賞 2018 において審査委員賞をいただき、2018年12月7日 東京ビックサイトにて授賞式及び受賞プレゼンテーションをさせていただきましたのでご報告をさせていただきます。

Society of Animal Artists Signature Member 岡田宗徳



JTB・コクヨ・パナソニックなど大企業・団体参加のなかで個人の活動で審査委員賞を頂くことが出来ました。



主催者・関係者の前で活動内容のプレゼン。より多くの方が動物・生息地保護などの保全活動へ参加していただく切掛けになれるよう今後も生息地観察・個展・ワークショップ・講演会など活動に力を入れます。

【生物多様性アクション大賞とは？】

「国連生物多様性の10年」の日本における広報活動の一環として2013年にスタートし生物多様性保全につながる活動が全国にひろがる、そんな活動を発掘、応援し多くの方に知っていただくことを目指した大賞になります。

【主催】国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J) 【共催】一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【後援】環境省・農林水産省・生物多様性自治体ネットワーク・

朝日新聞社・共同通信社・日本経済新聞社・毎日新聞社

【協賛】前田建設工業株式会社・セキスイハイム

【特別協力】公益社団法人国土緑化推進機構・経団連自然保護協議会

【協力】富士フイルム株式会社・株式会社オルタナ 【事務局】一般社団法人CEPA ジャパン